

「新タワーと観光のまち“すみだ”を回遊する次世代型観光交通システム」に関する調査

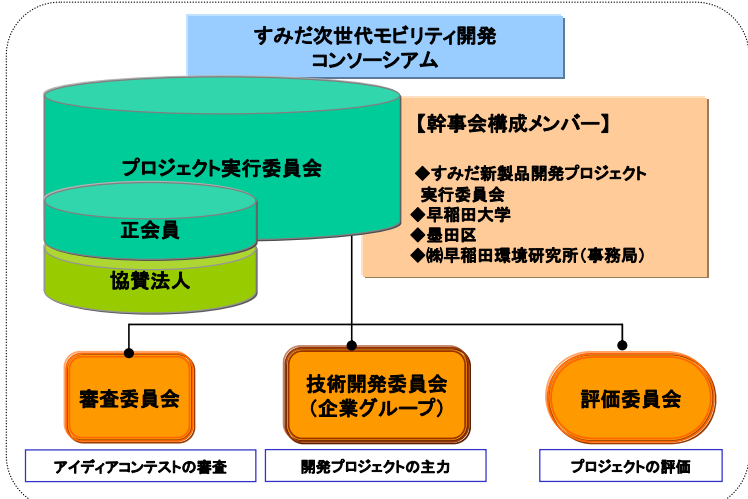
目的

- 新東京タワーを迎えるシンボリックな存在となる「次世代モビリティシステム(移動体)」を開発する。
- 回遊する専用モビリティをはじめ、最新技術を活用した次世代型の新交通システムを創造する。
- 新エネルギーや低燃費技術など最新の環境技術を駆使し、“脱・石油”のまち「すみだ」を実現する。

コンソーシアムの概要

活動内容

- ▶シンポジウムやコンテストの開催
- ▶広報、イメージの具体化、事業者・市民の意識啓発等
- ▶観光交通システムの具体化に向けた調査
- ▶観光情報の整理と周遊ルートに関する検討
- ▶観光交通システムの拠点整備に向けた計画
- ▶先行モデルによるモデルの市民向け試乗会
- ▶事業性評価



アイデアコンテスト

2011年に完成予定の新タワーと観光のまち、“すみだ”を周遊する環境にやさしいモビリティシステムのアイデアを募集した。

コンテストの概要

募集内容

- ▶デザイン部門
- ▶ビジネスモデル部門

募集期間

▶平成19年9月1日～11月30日

応募件数

▶デザイン部門:143件

▶ビジネスモデル部門:8件



デザイン部門:最優秀賞

観光情報MAPの作成

特徴

▶観光名所の詳細な情報の把握を行うとともに、35箇所の観光名所を回遊するルート、またはコンセプトの具体化に向けた検討を行うことを目的とする



回遊ルートの検討



観光情報の整理

先行モデルによる試乗会

特徴

▶早稲田大学で開発している超小型燃料電池自動車(ULFCV)を用いて、試乗会と乗り心地などに関するアンケートを行い、墨田区内で用いるモビリティの開発・使用方法の検討の際の参考とする。



ULFCVの模型



試乗会の様子